

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1単位	選択必修
担当教員			
井田 裕子			

講義概要	<p>①乳児の抱き方・寝かせ方 ミルクの与え方・排泄のしかた 身体の清潔法（衣類交換・沐浴・おむつ交換ほか）などの日常生活の養護の学内実習をする</p> <p>②バイタルサインの測定・記録および評価の実施 発熱・咳嗽・けいれん・腹痛などへの関わり方を実施する 与薬時の注意と工夫を学ぶ。</p> <p>③感染予防の三原則を理解する 排泄物の処理法を理解する 効果的な手洗い・うがいを体験する</p> <p>④子どもの事故と発生要因を理解する 気道内異物時の模擬演習 心肺蘇生法の模擬演習 包帯法を実施する</p> <p>⑤集団保育における年間保健安全計画 施設設備の消毒 保育者自身の生活習慣の整え方と健康管理にふれる</p>
授業計画	<p>1 小児保健実習の必要性 オリエンテーション、目的と意義</p> <p>2 子どもの成長と発達 身体の測定、発達評価</p> <p>3 子どもの日常生活の養護 乳児の抱き方・寝かせ方、ミルクの与え方・排泄のしかた</p> <p>4 子どもの日常生活の養護 乳幼児の移動法、おむつ交換</p> <p>5 子どもの日常生活の養護 身体の清潔の意義、衣生活の援助（衣服の交換・寝具）</p> <p>6 子どもの日常生活の養護 身体の清潔（沐浴法ほか）</p> <p>7 健康状態の把握と支援 一般状態の観察、バイタルサインの測定と記録・評価</p> <p>8 健康状態の把握と支援 発熱・咳嗽・けいれん・腹痛・便秘・への支援、薬法</p> <p>9 健康状態の把握と支援 与薬法（水薬・散薬・坐薬）</p> <p>10 感染の予防 感染症の予防対策、排泄物の処理、手洗い、うがい</p> <p>11 事故防止と安全 子どもの事故の特徴と発生要因、事故防止</p> <p>12 事故防止と安全 気道内異物時の対応、気道の確保、心肺蘇生法、救急車の呼び方</p> <p>13 事故防止と安全 応急処置（出血・打撲・骨折など）、包帯法</p> <p>14 集団保育における健康管理 健康管理（年間保健安全計画・健康観察など）、施設整備の消毒</p> <p>15 保育者をめざす者の自己管理 生活習慣の整え方と健康管理</p>
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①子どもの日常生活の養護について理解する</p> <p>②子どもの健康観察や症状に対する対処法がわかる</p> <p>③感染予防の原則及び感染拡大予防の方法が理解できる</p> <p>④子どもの保育環境がわかり事故防止と安全の重要性について理解できる</p> <p>⑤保育における健康管理や自己管理について把握できる</p> <p>筆記試験、実習、提出物や学習への取り組み・態度を総合して評価をおこなう。 筆記試験（50%）、実習（40%）、提出物や学習への取り組み・態度（10%）</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：『子どもの保健Ⅱ』 佐藤益子 編著 ななみ書房</p> <p>参考書：『小児保健演習ノート』 榊原洋一 監修 診断と治療社</p>
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	【準備学習（自主学習）】次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。